

一般質問

市政を問う

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問することをいい、毎定例会で行われます。 ※質問者順で掲載しています。

議員名下のQRコードの読み込みで一般質問の録画配信をご覧いただけます。なお、パケット通信料が発生しますので、ご承知おきください。



市民の足の確保 新保克佳 (公明党)

質問 高齢者ドライバーの交通事故が社会問題になってきている。高齢者の足を確保するため、高齢者向け買い物支援タクシーシート交付事業が有効と思うが、経過や全市域へ拡大する考えはか。

答弁 長野地区をモデル地区として平成25年12月にスタートし、27年度からモデル地区以外にも拡充を図った。町内会の協力が不可欠なこともあり、拡大していきませんが、今後、現在の利用実態等を再度検証していきたい。

質問 高齢者に限らず広く市民の足を確保するため、民間タクシーを利用した相乗りタクシーが効果的と考えるが、所見はか。

答弁 事業の導入は、既存の鉄



学校施設の管理 根岸 赴夫 (新風会)

質問 市内小・中学校の樹木管理の予算配分と学校要望の現状はか。

答弁 各学校の樹木剪定予算は年間約10万円を計上しているが、本数が多い場合や高木の場合など、予算の範囲内で対応できない時は教育委員会予算で対応している。学校要望で多いものはアメリカシロヒトリの駆除で、本年度は校庭の桜の木に大量発

地域防災力の強化 丸山 覚 (公明党)

質問 行政の指定避難所が小学校区単位であるため、その単位で住民防災に取り組むことが訓練の実効性を高めると考える。各小学校区に設置されている地域づくり活動協議会に防災部会を設置できないか。

答弁 まずは地域防災力強化の要となる自主防災組織の設置やその充実を推進したい。現在62%の組織率を平成31年度までに



技能祭で椅子づくり

八の鑑賞を行っている。中学校では、箏や笙、箏楽などに実際に触れ、音楽を聴き、わが国の伝統や文化を理解する学習や、歌舞伎の長唄や能楽の謡曲を鑑賞しながら口ずさむなど伝統的な歌唱を実際に体験している。



幼稚園、保育所への絵本の貸し出し 小野 聡子 (公明党)

質問 読み聞かせがもたらす効果は大変大きいと思われる。図書室のない幼稚園、保育所等へ絵本セットを貸し出せないか。

答弁 市内の幼稚園、保育所、認定こども園は117園あり、貸し出し専用の絵本が相当数必要になる。また、図書館から配送する車両や人員の確保などの課題もある。まずは、団体貸し出しを活用し、今後、各施設の要望等をよく調査したい。

質問 ケルナー広場は大きい子ども小さい子が混在して遊んでおり、少し危険だとの声がある。

答弁 来年度、ケルナー広場に



放射線被害対策 大竹 隆一 (新風会)

質問 東日本大震災による放射線対策について、市として組織的にどう対応してきたのか。

答弁 平成23年6月に東日本大震災影響対策室を設置し、市内企業への影響や農業の風評被害調査、全市的な空間放射線量の測定や部分的な除染を行ってきた。現在は、環境部環境政策課放射線対策担当で対応している。

質問 放射線被害の状況と現在までに支払われた賠償金額はか。

質問 市役所の障がい者雇用は、身体障がいだけだが、知的や精神障がい者の就労を今後どう考えるか。また、障がい者と配慮ある接し方をするための広報啓発の現状と今後の取り組みはか。

答弁 一部の自治体では、身体障害者に限定せず採用試験を実施している。これを参考に、法律の趣旨を踏まえ、今後の採用試験の実施方法等について研究していきたい。また、障害者への情報発信として、各種情報紙を発行している。今後、先進事例等も参考に調査研究したい。

質問 東日本大震災による放射線被害の賠償金について、現在、東京電力から本市に支払われた賠償金は、合計で約12億7000万円である。内訳としては上下水道などの汚泥や焼却灰の処理、はまゆう山荘等の利用客の減及び入湯税の減額分、食品検査や給食検査があり、汚泥等の処理と食品検査は、現在も継続して賠償を受けている。

質問 県コンベンション施設建設において行われる土地交換の内容と交換後の利用はか。



県コンベンション施設外観イメージ



新生児聴覚検査 松本 賢一 (新風会)

質問 現在、高崎市議会で、聴覚障害者の「いつでもどこでも手話ができる社会」との思いを受け、手話言語条例の制定に取り組んでいる。生まれつき耳が聞こえない子どもたちの言語獲得には、早期の新生児聴覚検査が重要であるが、内容は、また、検査費用助成を検討できないか。

答弁 出産した医療機関で検査を実施しているが、義務付けや保険適用がなく、医療機関によ



有害鳥獣対策 柄沢 高男 (新風会)

質問 市街地までイノシシが出てくる最近の傾向を市はどう捉えているか。また、捕獲頭数はか。

答弁 山のドングリが豊作か凶作かで野生動物の行動が大きく左右される。ことしは不作のためイノシシの行動範囲が広がり、農作物被害が大きくなっている。また、10月末で583頭、前年度の約1.7倍捕獲している。

質問 本市の農作物の被害状況や面積は、また、その対策はか。

答弁 平成27年度の被害額は、2357万円の前年度に比べ、6.6%増加し、面積は18.3ヘクタールであった。対策として、有害鳥獣対策実施部隊による

質問 既にJRと協議を開始し、設置位置などを調査している。来年度に実施設計を行い、協議が調い次第、事業を実施したい。

質問 新町地域では、洪水被害の際、線路を北から南へ渡り避難する。電車の緊急停止などで踏切の遮断機が下りたままになることが心配されるが、対応はか。

答弁 JR社員の安全確認により、手で遮断機を上げることができ。また、新町地域の5か所全てが遮断中になることはないため、迂回してもらうようJRと連携し市民周知に努める。

質問 市街地までイノシシが出てくる最近の傾向を市はどう捉えているか。また、捕獲頭数はか。

答弁 山のドングリが豊作か凶作かで野生動物の行動が大きく左右される。ことしは不作のためイノシシの行動範囲が広がり、農作物被害が大きくなっている。また、10月末で583頭、前年度の約1.7倍捕獲している。

質問 本市の農作物の被害状況や面積は、また、その対策はか。

答弁 平成27年度の被害額は、2357万円の前年度に比べ、6.6%増加し、面積は18.3ヘクタールであった。対策として、有害鳥獣対策実施部隊による